

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文獻	症例	適正使用情報	感染症(PT)	出典	概要
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	HPA Press Statement 2007年1月18日	英国で輸血と関係した新たなvCJD症例(4例目)が、最近診断された。この症例は後にvCJDを発症したドナーからの輸血を受けた約9年後にvCJDと診断された。同じ供血者からの輸血は以前に同定されたvCJD1例とも関係していた。4例目の患者は以前からvCJDに暴露した可能性を知らされていた。4例目のvCJD感染症例により、輸血を介したヒトの間におけるvCJD感染リスクについての懸念が高まっている。4症例は全て、成分輸血に関連したものであり、血漿分画製剤による治療に関連した症例は今まで報告されていない。
												ウェストナイルウイルス	CDC/MMWR 2007; 56(4): 76-79	ID-NATを用いた強化スクリーニング開始以降に、初めて西ナイルウイルス輸血感染症例が報告された。2006年に免疫不全患者2例が、感染ドナー1例(献血時のMP-NATの結果は陰性)由来の血液製品を投与された後、西ナイル神経根性疾患を発症した。今回の例はID-NATは実施されておらず、ID-NATトリガーを促進することが重要である。
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	FDA/CBER 2007年3月15日	FDA、CDCおよびNIHを含む米国Public Health Serviceは、米国で承認された血漿由来第VIII因子製品を投与された血友病Aおよびフォンウィルブラント病患者のvCJDリスクは極めて小さいとの見解を示した。血漿由来第IX因子を含む他の血漿由来製品によるvCJDリスクは同程度もしくは更に小さいと思われる。
215	2007/05/24	70214	日本製薬	乾燥抗D(Rho)人免疫グロブリン	抗D(Rho)抗体	人血液	米国	有効成分	有	無	無	HHV-8感染	N Engl J Med 2006; 355: 1331-1338	70213に同じ
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	HPA Press Statement 2007年1月18日	70213に同じ
												ウェストナイルウイルス	CDC/MMWR 2007; 56(4): 76-79	70213に同じ
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	FDA/CBER 2007年3月15日	70213に同じ